

《第1日目》 全体集会 平成26年1月9日(木)

場 所 ニトリ文化ホール（旧北海道厚生年金会館）

札幌市中央区北1条西12丁目 TEL 011-231-9551

日 程 12:00 ~ 13:00 受 付

13 : 00 ~ 13 : 40 開 会 式

13 : 40 ~ 15 : 40 全体講演

講演

司 会 佐賀 敦司（北海道札幌拓北高等学校）

演 題 「夢の実現(挑戦することの大切さ)」

講 師 柔道家

古賀塾塾長

医学博士

I P U環太平洋大学 体育学部体育学科教授

I P U環太平洋大学 女子柔道部総監督

日本健康医療専門学校校長

古賀稔彦氏



【講師紹介】

1967年福岡県生まれ、佐賀県出身。

弦巻中学、世田谷学園高時代に数々の全国大会を個人・団体戦で制覇。

日本体育大学進学後"平成の三四郎"の異名をとり、世界選手権2階級制覇をはじめ、ソウル、バルセロナ、アトランタと3度のオリンピックに挑戦している。

1992年のバルセロナ五輪では、大会直前に左膝内側側副靱帯損傷の大怪我を負いながらも金メダルを獲得。また、1996年アトランタ五輪では銀メダルを獲得。

2000年4月、現役を引退し、「指導者」として、全日本女子柔道コーチを務めるかたわら、2003年4

月からは子供の人間育成を目的とした町道場「古賀塾」を開塾。

2004年のアテネ五輪では、金メダルを獲得した谷本歩実のコーチとしても脚光を浴び、愛弟子を称えた抱擁のシーンは感動を呼んだ。

2007年4月から岡山県のI P U環太平洋大学体育学部体育学科教授、並びに女子柔道部総監督を務めている。

2008年、日本健康医療専門学校校長に就任。

2008年4月弘前大学大学院医学研究科博士課程に入学。

2012年3月同大学を卒業し、医学博士号を取得する。

【主な実績】

87～92 全日本選抜体重別選手権 1位 (71kg級)

88～92 全日本体重別講道館杯 1位 (71kg級)

87 ドイツ世界選手権 3位 (71kg級)

88 ソウルオリンピック 3回戦敗退 (71kg級)

89 ユーゴスラビア世界選手権 1位 (71kg級)

91 スペイン世界選手権 1位 (71kg級)

92 バルセロナオリンピック 金メダル (71kg級)

95 幕張世界選手権 1位 (78kg級)

96 アトランタオリンピック 銀メダル (78kg級)

【著 書】

古賀稔彦の一本で勝つ柔道（MCプレス）古賀稔彦が翔んだ日 バルセロナ、軌跡の道（葦書房）勝負魂（ベースボール・マガジン社）人は弱さを知り強くなる（PHP研究所）古賀稔彦 世界を獲った男、その生き方（東京学参）柔道（Jスポーツシリーズ5）（旺文社）精神力（角川oneテーマ21）（角川書店）

《第2日目》 教科別集会 平成26年1月10日（金）

部会	主 題	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00			
		30	30	30	30	30	30	30	30			
国語	ことばがひらく豊かな世界 言語活動の充実を目指して		受 付	開 会 式	講演 作家 眉村 卓	昼食	研究発表・研究協議	閉 会 式				
地歴 公民	課題意識を持ち、主体的 に学び考える力を育む学 習指導の工夫・改善	受 付	開 会 式	総 会	研究発表・研究協議 (分科会ごと)	昼 食	(世界史)講演 東北大学大学院経済学研究科 教授 小田中 直樹氏	閉 会 式				
					(日本史)講演 代々木ゼミナール 個別指導スクール 講師 菅野 祐孝氏		研究発表・研究協議 (分科会ごと)					
					(地理)講演 北海道大学北東アジア研究交流センター 教授 西川 博史氏							
					(現代社会)講演 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 大杉 昭英氏							
					(倫理)講演 東京美装北海道株式会社 総務課 係長 金子 祐介氏							
					(政治・経済)講演 北海道大学大学院 教授 藤野 彰氏							
					数学					学びとる力と学習意欲を 育てる数学教育	受 付	開 会 式
理科	科学的な自然観を育成す るための理科教育 日常生活や社会との関連を 図る指導法の研究 科学的に探究する能力と態 度を育てるための観察、実 験の開発	受 付	開 会 式	総 会	全体協議 「新教育 課程に ついて」	全体講演 国立教育政策研究所教育課程研究センター 総括研究官 後藤 顕一氏	昼 食	12:45 (物理) 講演 北海道大学低温科学研究所 所長 古川 義純氏	14:10 研究発表 研究協議	15:20 閉 会 式		
								(化学) 研究発表・研究協議				
								(生物) 講演 北海道大学高等教育推進機構 教授 鈴木 誠氏				
								(地学) 講演 北海道大学大学院理学研究院 准教授 稲津 将氏				
								(理科総合) 講演 北海道立特別支援教育セン ター視覚障害教育室長 森田 浩司氏				
保健 体育	逞しい生徒を育てる授業 を求めて		受 付	開 会 式	講演 北海道ハイテクアスリートクラブ 代表 中村 宏之氏	昼 食	15:45 高体連研 究部発表	研究発表	研究協議 ・講評	16:45 閉 会 式		
養護	現代的な健康課題の解決 と学校保健活動の推進を めざして	9:20 受 付	9:40 開 会 式	9:50 研究発表	11:20 11:40 総 会 情報提供	昼 食	13:20 講演 宮城大学事業構想学部事業計画学科 教授 櫻木 晃裕氏	15:20 閉 会 式	会場復元 会	16:50 閉 会 式		
芸術	豊かな感性を拓く芸術教育		受 付	開 会 式	講演 筑波大学 教授 國安 孝昌氏	昼 食	分科会Ⅰ(研究発表)13:00～14:00 分科会Ⅱ(研究協議)14:10～15:10	15:20 実践報告 部会総会	16:50 閉 会 式			
英語	21世紀に生きる地球市民 を育む英語教育 ～新しい流れに対応する授 業をめざして～		受 付	開 会 式	9:45 講演 東京外国語大学 教授 根岸 雅史氏	昼 食	12:40 (3分科会) 研究発表 研究協議 講 評	15:10 分 科 会 毎 閉 会				
家庭	生涯を見通して生活を創造 する力を育む家庭科教育		受 付	9:50 開 会 式	10:20 講演 聖徳大学大学院人間栄養学研究科及び教職大学院 兼任講師 河野 公子氏	昼 食	研究発表	13:50 研究協議	15:20 閉 会 式			
農業	北海道の次代を創る新しい 農業教育の推進 学校農場の活用と農業クラ ブ活動を推進した専門教育 の充実		受 付	開 会 式	10:10 講演 株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役 加藤 百合子氏	11:40 連 絡	昼 食	研究協議	閉 会 式			
工業	「新しい時代を切り開く 工業教育の創造と実践」		受 付	開 会 式	総 会	講演 特定非営利活動法人 NCOS 理事 大川 元一氏	昼 食	研究発表・研究討議	閉 会 式			
商業	創造性豊かな人材育成の ためのビジネス教育	8:50 受 付	9:20 開 会 式	10:10 講演 株式会社Smappo 代表取締役 教育と産業研究所所長 杉山 幹氏	11:40 昼 食	12:50 研究発表①②	14:30 研究 協議	閉 会 式				
水産	変化の激しい時代をきり 拓く水産・海洋教育はい かにあるべきか	事前 登録を おこな う	受 付	開 会 式	講演 国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 瀧田 雅樹氏	休 憩	研究発表 研究協議	研修 報告	講 評	部会総 会	閉 会 式	
情報	授業づくりの繋がりが づくり	受 付	開 会 式	9:40 ワークショップ詳細はchoiceメー リングリストやサイトで順次公開 します	11:40 休 憩	企業による展示と プレゼンテーション	13:30 講演 大阪電気通信大学総合情報学部 情報学科教授 兼宗 進氏	閉 会 式				

教科別集会会場案内

部会	会 場 名	所 在 地(電話番号)	交 通 機 関
国語	北海道道民活動センター (かでの2・7)	札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011) 204-5100	地下鉄東西線「大通」下車 徒歩5分 ＪＲ「札幌」下車 徒歩10分
地歴 公民	北海道札幌平岡高等学校	札幌市清田区平岡4条6丁目13番1号 ☎(011) 882-8122	①中央バス 平岡ニュータウン線（大66）（大67） 地下鉄東西線「大谷地」～「平岡高校」（乗車14分） ②中央バス 福住・平岡線（福51） 地下鉄東豊線「福住」～「イオン札幌平岡」（乗車20分） ③中央バス 新さっぽろ・平岡線（新111） 地下鉄東西線「新さっぽろ」～「平岡4条3丁目」（乗車18分） ④ＪＲバス 新さっぽろ平岡線（循環新111） 地下鉄東西線「新札幌」～「平岡4条3丁目」（乗車18分） ※自家用車を使用する場合は、イオンモール札幌平岡の駐車場をご利用下さい
数学	大谷記念ホール (札幌大谷大学)	札幌市東区北16条東9丁目1番1号 ☎(011) 742-1651	地下鉄東豊線「東区役所前」下車 徒歩5分
理科	市立札幌大通高等学校	札幌市中央区北2条西11丁目 ☎(011) 251-0229	地下鉄東西線「西11丁目」から徒歩5分 ＪＲ「札幌」から徒歩18分 「桑園」から徒歩20分 市電 「中央区役所前」電停から徒歩7分 ※自家用車の駐車場はありません。公共交通機関、あるいは徒歩でお越し下さい。
保健 体育	北海道立総合体育センター (きたえーる)	札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 ☎(011) 820-1703	地下鉄東豊線「豊平公園」下車
養護	札幌市教育文化会館 (305研修室)	札幌市中央区北1条西13丁目 ☎(011) 271-5821	①地下鉄東西線「西11丁目」下車 1番出口から徒歩5分 ②バス ＪＲ札幌駅バスターミナルから中央バス（円山経由小樽行）、ＪＲバス（小樽行、手稲営業所、手稲鉾山行）乗車「北1条西12丁目」下車 徒歩1分
芸術	北海道札幌真栄高等学校	札幌市清田区真栄236-1 ☎(011) 883-0465	中央バス 有明線〔福87〕「有明小学校」行き 福住駅→真栄高校（約30～40分）
英語	札幌大学	札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1 ☎(011) 852-1181	①地下鉄南北線「澄川」下車 中央バス西岡環状線「澄73」・下西岡線「南71」・西岡線「南81」・澄川白石線「澄78」のいずれかで「札大南門」下車（乗車時間約6分） ②地下鉄東豊線「月寒中央」下車 中央バス澄川白石線「澄78」または西岡月寒線「月82」で、「札大正門前」下車（乗車時間約9分）
家庭	札幌エルプラザ	札幌市北区北8条西3丁目28 ☎(011) 728-1222	①ＪＲ「札幌」（北口）より徒歩3分（札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通） ②地下鉄南北線「さっぽろ」より徒歩7分 ③地下鉄東豊線「さっぽろ」より徒歩10分
農業	センチュリーロイヤルホテル	札幌市中央区北5条西5丁目 ☎(011) 221-2121	ＪＲ「札幌」西口改札より出て、札幌駅南口方面へ徒歩2分
工業	札幌全日空ホテル	札幌市中央区北3条西1丁目2-9 ☎(011) 221-4411	①ＪＲ「札幌」下車 南口より 徒歩7分 ②地下鉄南北線「さっぽろ」下車 21番出口より徒歩1分 ③新千歳空港より車で70分、バスで90分
商業	札幌教育文化会館	札幌市中央区北1条西13丁目 ☎(011) 271-5821	ＪＲ「札幌」／地下鉄南北線「さっぽろ」→「大通」（東西線乗り換え）→「西11丁目」（1番出口）から徒歩3分 市電「西15丁目」から徒歩10分 地下鉄東西線「西11丁目」（1番出口）から徒歩3分 ＪＲバス・中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分
水産	北海道小樽水産高等学校	小樽市若竹町9番1号 ☎(0134) 23-0670	①ＪＲ「小樽築港」下車 徒歩5分 ②ＪＲ「小樽」より中央バス（桜町・新光町行き）乗車、「小樽築港駅前」下車 徒歩5分
情報	北海道札幌北高等学校	札幌市北区北25条西11丁目 ☎(011) 736-3191	①地下鉄 地下鉄南北線「北24条」下車 徒歩西へ12分 ②バ ス 北24条バスターミナルより ・中央バス「北72 新川線」「西51 北桑園線」とともに「北高校」下車 ・ＪＲバス「軒24 北24条線」で「北高校前」下車

※各会場ともに冬期は特に駐車場はありませんので、自家用車はご遠慮ください。

◎大会受付

- 受 付 要 領
- 参加証のうち「全体集会：参加証（兼大会要項引換券）」を切り取って、全体集会の受付に提出し「大会要項」をお受け取りください。
参加証には、あらかじめ「氏名」、「学校名」を記入のうえ、会場にお越しください。
- 受 付 時 間
- 受付時間は、12：00から13：00までです。
なお、開場は、11：45です。それまで入場できませんので、よろしくお願いします。

高教研本部事務局
〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18 北海道札幌旭丘高等学校内
Tel 011-513-2238 Fax 011-513-2244
e-Mail info@d-kokyoken.jp

北海道高等学校教育研究大会
第51回 大会案内

- 研究主題
- 「未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造」
- 大会期日
- 平成26年1月9日（木）、10日（金）

第51回研究大会にあたって

北海道高等学校教育研究会
会 長 佐々木 高 至

例年になく、長く続いた猛暑も、秋風とともに過ぎ去り、気がつくともう、厳しい冬の季節となりました。

本年度は、新学習指導要領の改訂による準備も終わり、今年度入学生から完全実施の運びとなりました。各学校においては、「北海道教育推進計画」の具現化に向けて、安心安全な学校づくりを推進するとともに、「体罰根絶に向けての取り組み」や「命の大切さを育む教育」さらには「土曜授業」の取り扱いなど、多くの課題に取り組んでいることと思います。つい最近、ＯＥＣＤの学習到達度調査（ＰＩＳＡ）2012の結果が公表され、3分野とも前回の結果を上回り、15歳児の学力が確実に向上しているという報道がありました。これを受けて教育改革はますます加速されていくことが予想されます。教育再生実行会議で検討している「到達度テスト」の導入も含め、高校教育が担う課題の多さと変化に戸惑いながらも、きちんと対応していかなければならないと考えているところです。

さて、講師の変更に伴い、改めて第51回大会のご案内を申し上げます。会員の皆様には突然の講師変更で大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。1日目の全体会において、ご講演をしてくださる講師は、“平成の三四郎”の異名を持つ、バルセロナオリンピック金メダリストで柔道家の古賀稔彦氏となりました。選手に「強制」することのマイナスを唱える古賀氏は、指導者としても輝かしい成果を上げています。一丸となって指導者による体罰をなくしていこうとする私たちにとって、貴重なお話をしていただけるものと確信しております。2日目の各教科部会においては、最新の研究や情報が得られる講演、ならびに全道各地の実践例を中心とした提言や研究発表が展開されます。

本大会が充実した意義のある大会になることを目指して現在、諸準備を進めています。これからの北海道教育を担う全道各地の先生方が一堂に会して研修し、情報を共有し、交流することができるこの大会を、ますます充実させていかなければいけないと強く思っています。この趣旨に賛同していただき多くの皆様に会員になっていただきたいと切に思います。

各学校においては「特色ある学校づくり」に奮闘されていることと思いますが、その基となるのは、情熱をもって事に当たって下さっている教員の力であります。いまこそ、皆様一人ひとりが「高い志」を持ち、更なる資質の向上を目指して果敢に突き進んでいただきたいと思います。

最後になりますが、多数の皆様のご参加をお願い申し上げるとともに、本大会の開催に際して、お力添えをいただいている関係各位に心から感謝申し上げます。

主 催 北海道高等学校教育研究会

後 援 北海道教育委員会

札幌市教育委員会

北海道高等学校長協会

北海道私立中学高等学校協会